

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	幕張新都心若葉住宅地区計画 B-5街区	階数	地上28F
建設地	千葉市美浜区若葉三丁目1番23号	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域、準防火地域	平均居住人員	1,151 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年5月 予定	評価の実施日	2024年1月22日
敷地面積	24,589 m ²	作成者	山本浩孝
建築面積	6,393 m ²	確認日	2024年1月22日
延床面積	49,763 m ²	確認者	山本浩孝

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.1 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.7

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合 高効率な設備機器の導入や、積極的な緑化により環境負荷の低減に配慮した建物である。		その他
Q1 室内環境 ・F★★★★建築材料をほぼ全面的に使用し、室内の空気環境の向上に努めた。	Q2 サービス性能 ・防震装置を導入し、建物の耐用性の向上に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・敷地周囲に緑化を行うことにより、生物環境の保全と創出に配慮している。
LR1 エネルギー ・高効率な設備機器を導入し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料を使用するよう努めた。	LR3 敷地外環境 ・適切な量の駐車場を設置して、交通負荷抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される